

第10回九州ブロック初期・後期臨床研修進路説明会の開催について

福岡県医師会は、「地域医療格差の是正と、若い医学生と研修医の将来に幅広い選択肢を紹介することを意図した進路説明会」を地域医療に係る九州内の県、県医師会、大学及び九州厚生局と開催してきました。残念ながら、若き医師の都市部集中に対する有効な手立ての確立に成功したとは言えない現状でした。そこで、前述の関係機関で協議を行い、管内大学の4年、及び5年生を対象とした進路に関するアンケートを実施致しました。各大学のご協力を頂き、72.2%の回収率で回答を頂きました。調査内容は多岐に及びますが、我々が最も関心を抱く「専門医取得後に働きたい地域」では「出身大学所在県に戻って働きたい」との回答が九州全体で39%に達しました。「専門医を取得した県で働きたい」24%、「出身地で働きたい」25%、「それ以外の地域で働きたい」9%に比べて多くの医学生の回答を頂きました。医師の移動・就職状況の現実と大変異なる結果です。皆様も承知されていますように、若年医師の出身大学県への回帰ははるかに少ない数です。このことは、九州内の各県民が等しく医療を享受することを願う我々に希望を持たせる結果です。

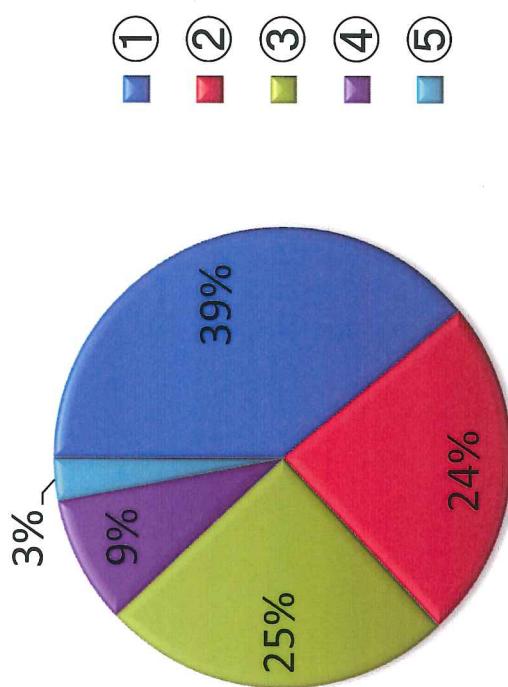
この結果を踏まえて、本年度(平成28年2月13日)の進路説明会において、詳細な結果を九州厚生局臨床研修専門官の早崎咲子先生に紹介して頂き、その結果をもとに各県の種々のキャリアの先生方とパネルディスカッションを予定しています。その中で、九州全域の特性を生かした医師の還流・育成システムや国内留学制度の可能性を熱く語ります。そのためには、多数の医学生、研修医の参画が必要になります。今回の進路説明会は若き医師の将来に留まらず、地域医療全体に及ぼす影響が大きいと考えます。従って、マスコミの皆さん、その意義の周知と参加の呼びかけにひと肌ぬいで頂きたいとお願いする次第です。

九州・沖縄11大学医学部4、5年生アンケート

実施：2015年7月（回収率72.21%）

専門医取得後の予定をどのように考えていますか。

- ①出身大学所在県に戻つて働きたい (39%)
- ②専門医を取得した県で働きたい (24%)
- ③出身大学所在県や専門医を取得した県ではなく、出身地で働きたい (25%)
- ④それ以外の地域で就職したい (9%)
- ⑤その他 (3%)



第10回 九州ブロック 初期・後期臨床研修 進路説明会

日時：平成28年2月13日（土） 11:00～16:00
場所：福岡国際会議場

講演

医学生アンケートの結果報告

厚生労働省九州厚生局健康福祉部医事課
臨床研修審査専門官 早崎 咲子

パネルディスカッション

医師のキャリアについて

～大学病院と臨床研修病院、どちらを選ぶか～
～新専門医制度にどう向き合うか～

座長：福岡県医師会副会長

国立病院機構福岡東医療センター院長
上野 道雄

パネリスト：飯塚病院総合診療科 小田 浩之

将来は地元に帰りたいけど…

出産・育児と
キャリアの両立
は？

宮崎大学医学部附属病院

卒後臨床研修センター副センター長
小松 弘幸

佐賀大学医学部附属病院

卒後臨床研修センター准教授
吉田 和代



様々な分野でご活躍中のエネルギッシュな先生方によるパネルディスカッションです！

☆臨床研修病院一筋！

☆臨床研修病院を経て大学入局！

☆大学病院一筋！

★九州ブロック初期・後期臨床研修進路説明会実行委員会★
福岡県医師会、佐賀県医師会、長崎県医師会、熊本県医師会、大分県医師会、宮崎県医師会、鹿児島県医師会、沖縄県医師会、
福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、九州厚生局

お問い合わせ：進路説明会実行委員会事務局 TEL：092-472-2307

HP：<http://kouseikyoku.mhlw.go.jp/kyushu>

九州ブロック進路説明会

検索

※HPにブース出展する参加機関を掲載しています。ぜひご確認下さい！